



成隣だより

令和7年6月30日
第4号
昭島市立成隣小学校
校長 松川 靖弘
TEL 042-541-0068



HPはこちら



夏の空にご用心 ～命を守る行動を身につけよう～

校長 松川 靖弘

夏の暑さが年々厳しさを増しており、「異常気象」という言葉も当たり前のように耳にする年が続いています。今年もすでに猛暑日や真夏日が報告され、熱中症の危険性が高まっています。また、梅雨前線という言葉に加え「線状降水帯」「ゲリラ豪雨」などの言葉も頻繁に耳にするようになりました。

自然の変化に敏感になり、正しい知識と行動力を身につけることが、これからの時代を生きる子どもたちにとって大切な力となります。ご家庭でもぜひ、天候への備えについてお子さんと話し合ってみてください。

熱中症予防

登校・下校時は、帽子をかぶり、日陰を選んで歩くよう伝えてください。汗をかいたらハンカチでふき、水筒で水分をこまめにとる習慣を。朝食をしっかりと、体調不良時は無理をさせないことも重要です。

放課後に公園で遊ぶ際は、気温が高い時間帯を避け、30分ごとに休憩と水分補給を。ペットボトルを冷蔵庫に常備しておき、タオルや冷却グッズと一緒に自分で持って外出するなどの工夫を！

熱中症警戒アラートが出ている日は外遊びを控える判断も必要です。警戒アラートは前日の14時・17時とその日の朝5時に発令されます。朝夕の天気予報と一緒に確認するなど、家庭でも日々の声かけと体調確認をお願いします。



天気予報を活用する習慣を！
知識や情報を生活や健康管理に役立てる力を育てましょう。

雷雨対策

夏は急な雷雨が発生しやすく、落雷や強風、大雨による事故の危険があります。雷の音が聞こえたら、すぐに建物内や安全な場所に避難することが大切です。学校でも屋外活動の中止や速やかな避難を徹底しています。

放課後、公園などで遊んでいる最中に雷が聞こえたら、すぐに遊びをやめて近くの建物や安全な場所に避難するようお子さんに伝えてください。木の下や鉄棒、ブランコなど金属製の遊具には近づかないことも大切です。お子さんと話し合い、安全意識を高めていただくをお願いします。

「突然の雷雨を予想するためのポイント」

- ・ 空が急に暗くなる
- ・ 遠くでゴロゴロと雷の音が聞こえる
- ・ 冷たい風が急に吹く（「冷たい風＝雷雨の合図」）
- ・ 雲の様子が変わる：黒くて厚い雲が近づいてくる
- ・ 雨がポツポツから急にザーッと強くなる

家庭での声かけの例

「空が暗くなったらすぐ帰ってきてね」「雷の音が聞こえたら遊ぶのをやめようね」「冷たい風が吹いてきたら雨が降るかも、注意しようね」

校長先生、
「雨の匂い」が
する。雨が降
るかも・・・



下校中の児童からの一言。
天気の変化を豊かに感じとる
一言が心に響きました。

『熱中症特別警戒アラート』発令時の対応

熱中症警戒アラートは、暑さ指数が33以上になると予測された場合に発表されます。さらに危険な暑さが予想される場合、暑さ指数が35以上になると**熱中症特別警戒アラート**が発表されます。発令された場合、学校は休校等の処置をとり、児童の安全を確保します。お便りやメール配信でもお知らせいたします。その際は、ご家庭での対応をよろしくお願いいたします。